

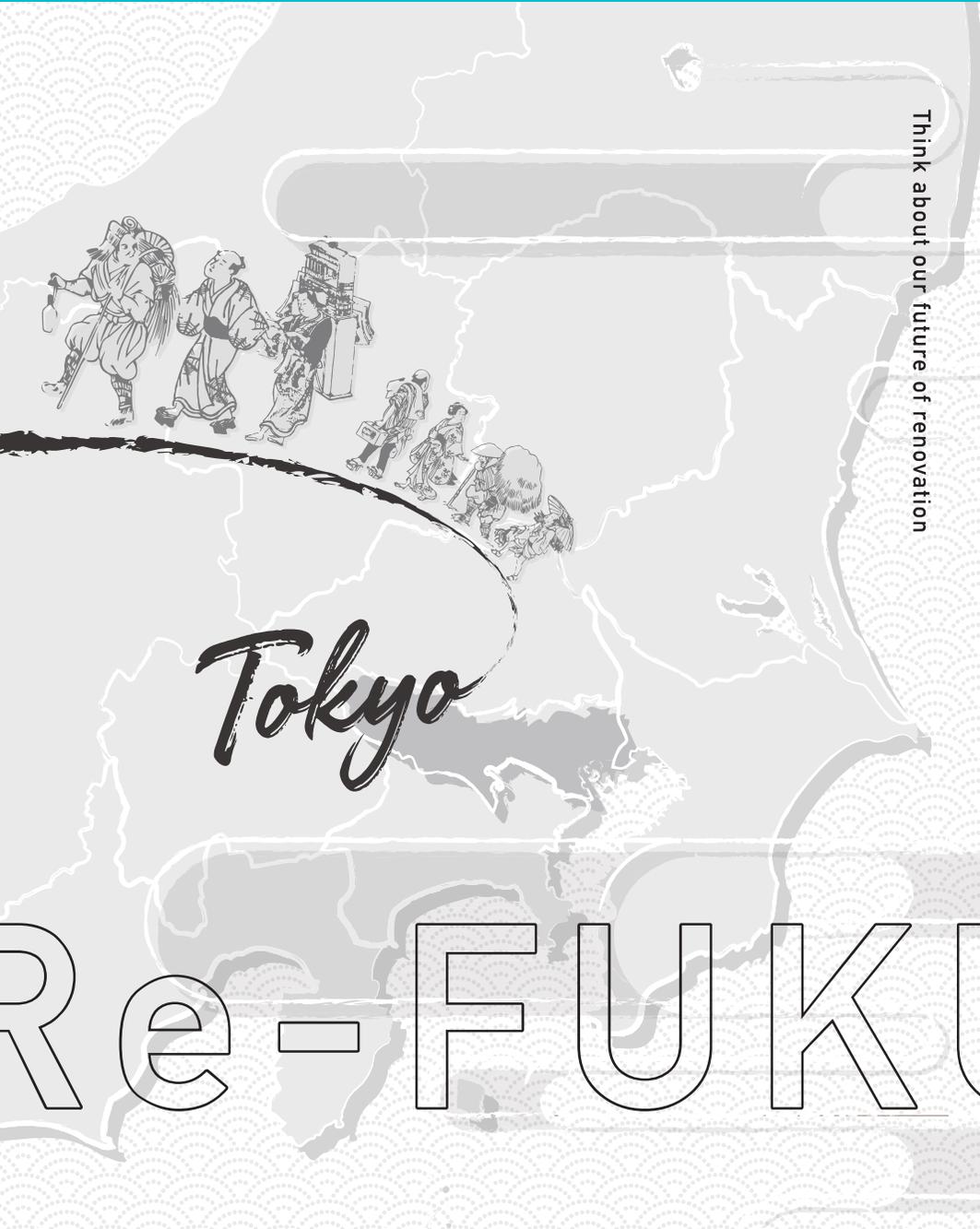
リノベーション

未来ノート Vol.5

Think about our future of renovation

Tokyo

Re-FUKUI



目次

- 1 はじめに
- 2 DRFの取り組み / これまでの流れ
プラチナ大学と逆参勤交代コース
- 3 逆参勤交代レポート①
- 4 逆参勤交代レポート②
- 5 逆参勤交代参加者のプレゼン
- 6 逆参勤交代総括 / さいごに



出典:福井県 県都ランドデザイン

はじめに

福井市中心市街地は、2024年春に北陸新幹線福井開業を控え、複数の再開発事業が進行しており、100年に一度と言われる大きなチャンスを迎えています。

福井市では、再開発とリノベーションが共存し補完し合うことで、他市にない福井独自の個性と魅力を生み出していくことを目的に、2018年から実践型リノベーションまちづくり講座「DiscoverRe-FUKUI(ディスカバーフクイ:以下DRF)」を開催してきました。

今年度は、地域資源を活かしてリノベーションを地域全体に広げていくエリア・リノベーションの活性化や、新たな福井の未来の担い手を求め、「丸の内プラチナ大学」と協働で、「トライアル逆参勤交代」に取組みました。東京のビジネスパーソンに実際に福井に来ていただき、福井駅前をフィールドとした現地視察やまちなかで活動しているキーマンたちと交流を深め、リアルな福井で感じた課題の解決に向けた提案をいただきました。

今回の取組はきっかけであり、これからの活動が重要であると考えています。多くの方に福井のまちに関心を持っていただき、関わっていただき、発展させていく。そのための関わりしるは十分にあります。この本を手に行っている方も一緒に、新たな街の姿を創造していきましょう。

2023年3月

福井市長 東村 新一
まちづくり福井株式会社 代表取締役社長 岩崎 正夫



DiscoverRe-FUKUI(ディスカバーフクイ)の名前の由来

Discover=発見する、Renovation=リノベーション、Re=再び・再生、この3つの意味が含まれている。
福井のまち、地域の良さ、魅力を発見し、リノベーションによってまちを再生する思いを込めて、DiscoverRe-FUKUIとした。

DRFの取り組みについて

「DRF」は、福井のまちづくりに自分事として関わる人を育てるべく、2018年に始まった実践型リノベーションまちづくり講座です。これまで、県内外の学生から社会人まで幅広い受講生と講師陣や関係するまちの人たちによって、様々な意見とアイデアが交わされてきました。2018・2019年度は数カ月に及ぶ実践型講座から公共空間を含む様々なパターンのリノベーション事業計画が提案されました。また、コロナ禍の2020・2021年度は講座形式から舵を切り、オンラインシンポジウムを中心に、2030年のまちの未来図の創造や、都市人材との交流、ローカルアーバニストの視点などを発信しました。

DRFは個性的な点と点が福井という小さなまちに集まり、一人ひとりが出し得る「知」と「アイデア」で、新しい化学変化を起こし、見たことのない一滴を生み出そうという時間です。



丸の内プラチナ大学と逆参勤交代コースとは

丸の内プラチナ大学

丸の内プラチナ大学は、東京の大手町・丸の内・有楽町エリアのまちづくり推進や、各種イベントを行うエコツツエリア協会が企画・運営するビジネスパーソンを対象とするキャリア講座です。仕事を通じて培った知識やネットワークを活かし、受講生自身のキャリアアップおよび、社会に還元できる人を育てることを目的としています。講座を通じて創造性を高め、人とつながることによって、組織での再活躍のほか、起業や地域・社会貢献など、受講生の多様な可能性を広げます。座学での理論構築とケーススタディ、さらに現地でのフィールドワークでリアルな社会課題を体験します。

逆参勤交代コース

逆参勤交代コースは、日本全国の各地域が抱える課題や、潜在するその地域の価値を、都市部のビジネスパーソンがその地域に赴き、逆参勤交代することで一緒に考え、その地域の課題解決や新たな魅力づくりを目指す事業です。プロジェクトに参加したメンバーもその地域のリアルに直面し、現状からプロジェクト提案をすることで自身のスキルアップや、新たな人との出会いにつながります。



出典:逆参勤交代Project

トライアル逆参勤交代レポート

- Day1 福井駅 → オリエンテーション → 福井市総合ボランティアセンター → 新栄商店街 → クマゴローカフェ → 懇親会
- Day2 足羽川河川敷 → まちなかバスツアー → sumu → CRAFT BRIDGE → Luff Fukui Work & Studio → 懇親会
- Day3 Luff Fukui Work & Studio(課題解決プラン提案) → ハピリン、プリズム福井(お土産購入) → 福井駅解散

Pick up!!

リノベーション物件たち クマゴローカフェ・sumu・CraftBridge/Luff

2日間を通して、DRFやリノベーションスクール福井などをきっかけにリノベーションし新たに動き出している物件をめぐりました。日替わり店長制のカフェや、クラフトビールの楽しめるバー、コワーキングスペースなど、形態はさまざま。運営の現状や課題を聞きました。



アオハルPJ!! 高校生によるプレゼン

2日目最後は地元高校生との意見交換会。メンバーは福井駅前で2022年10月に高校生が作る、史上最高のフェス「アオハルフェス」を企画・運営した高校生たちです。フェス当日は大盛況だったとのこと! 当日の感想や、都市部との関係人口について意見を交えました。



懇親会で福井の山の幸・海の幸を堪能!!

1日目はシーズンの越前がにを堪能! 2日目はリノベーション物件の「クマゴローカフェ」にて2日間で出会ったキーパーソンを交えての懇親会を行いました。最終日のプレゼンテーションに向けて参加者それぞれが熱い想いを福井の人たちと共に語りつくしました。



Day1 ふくいの駅前の今を知る

ふくまち大学

2022年7月に始動した福井駅前を中心とした「まち」を舞台に広がる「学びと行動のプラットフォーム」、ふくまち大学。今回はまちの学長の高野さんからレクチャーを。やわらかな「学び」の景色を福井のまちなかに描くため、カフェや県庁の屋上などまちなかの色々な場所に出発して授業やゼミ、サークル活動を行っています。



Day2 まちなかをもっと知ろう

バスツアー

2日目午前中に行われたバスツアー。案内は福井市認定の観光おもてなしスーパーマイスターの井上さん! 戦国武将の柴田勝家を祀る柴田神社や、福井城址、福井のまちなかを一望できる足羽山など福井駅前にある歴史のあるスポットを巡りました。



Pick up!!

そして…課題解決プラン発表へ!!

全てのプレゼンの詳細は、次ページのQRコードよりご覧いただけます。

アオハル参勤交代@江戸プロジェクト 新幹線を使って、1カ月だけ『お試し東京留学』

今回福井市のフィールドワークにご夫妻で参加した清水さん。2日目に意見交換をした高校生たちとのつながりをつくりたいと、地元の高校生や大学生たちに向けた提案を行いました。若者の県外流出の加速化が懸念される中、一度実際に都会に出てみることで、「福井にはあるが、東京にないもの」に気づき、発信できる人材育成につなげようという試みです。将来の進路に悩む福井在住の若者の人材流出を、「新幹線で行ったり、来たり」という人材循環へと変える。これからの新しい暮らし方にもつながる契機になりそうです。



清水朝一氏

福ってる? 福いいね! まちなかCookingStudio まちなか先生発掘プロジェクト

料理教室の講師をされている大野さんは自分のフィールドである「食」の視点を軸にした提案を行いました。まちなかで商売をするディーブで温かみのある人たちと、エネルギーはあるけれどまだこのまちの潜在的な魅力を知らない若者たちをつなげて相乗効果を生み出すプロジェクトです。今回のまち歩きで新旧織り交ざったまちなかの雰囲気が入ったという大野さん。自分の琴線に触れた人たちが福井の食を、アオハルプロジェクトを企画する若者たちと連携して人と食をテーマにしたイベントを行うことで発掘していきます。



大野はるか氏

ほやでえ、福井の山で育った木で福井のみんなであもつしええ カニカニヤタイをつくるプロジェクトやぞ

タイトルに福井弁をふんだんに盛り込んだ寛さん。普段は吉野杉デザイン研究所の所長としてさまざまな吉野杉ツールを作成しています。今回はその視点から福井の県産杉を使って、福井のまちのアイコンとなるデザインヤタイをつくることを提案しました。福井の山から木を選ぶところから、デザインまで参加者みんなでつくることで福井のまちを知り、想いを共有するという1年構想のロングプロジェクトです。お母さまのご出身が福井で福井とは浅からぬ関係があるとのこと! これから吉野と福井がつながるのが楽しみです。



寛ひろし氏

参加者プレゼン一覧

1. 福ってる? 福いいね! まちなかCooking Studio まちなか先生発掘プロジェクト
2. ほやでえ、福井の山で育った木で福井のみんなでえもっしええ カニカニヤタイをつくるプロジェクトやざ
3. アオハル参勤交代@江戸プロジェクト ～北陸新幹線を使って、1ヶ月だけ「お試し東京留学」～
4. 資産をつなぐプロジェクト
5. 福井伝統工芸アイドルグループ「さくらいと」にリノベーションをアピールしてもらおうプロジェクト
6. ふくまち大学 上智校を作る ～福井の日常とウェルビーイングをまなぶゼミ?～
7. 福井駅からの「福井の魅力をつなぐ」プロジェクト ～歩いて発見できる、福井の魅力～
8. 福井にきてみねま。行かんまいけ!行きまっし!「帰省プラス福井」プロジェクト
9. みらいインキュベーションクラブプロジェクト
10. 福いいねを語る、ホームステイプロジェクト
11. 福いいね!ブラッシュアッププロジェクト ～首都圏人材をはじめとする関係者との壁打ちの場づくり～
12. 人、まちサカエる商店街体験プロジェクト



→フィールドワークの様子
(動画)



→プレゼン内容の詳細



福井市トライアル逆参勤交代の総括

丸の内プラチナ大学 副学長 逆参勤交代コース講師 松田智生氏



今回、首都圏の社会人・学生が11名参加し、商店街や老朽化したビルの再活性化等、エリア・リノベーションをテーマに濃密なフィールドワークを実施した。現地の魅力的な挑戦者、郷土愛の強い高校生との交流のなかで、「良い化学反応」が生まれたと感じている。こうした化学反応や街づくりのイノベーションは、いつも同じ顔ぶれ、決まった序列、似たような価値観や経験では起こらない。逆参勤交代の意義はここにある。

そして最終日の参加者プレゼンのルールは私主語だ。「あなたの街はこうすべきだ」という「あなた主語」でなく、自ら主体的に何が貢献できるかという姿勢であり、受講生からは街づくり、観光、食、未来人材育成、伝統工芸等の多様な「私主語」の提案がなされた。

なお福澤諭吉が残した「半学半教」という言葉は、師弟の分を定めずお互いが学び合い教え合うことだが、今回のトライアル逆参勤交代は、まさに参加者と福井市との「半学半教」の場であったと言える。

逆参勤交代は終わってからが勝負である。これを一過性のイベントにせず「続けること」、今回の提案をさらに「深めること」、そして他自治体との広域連携で「広めること」を肝に銘じて次年度以降に繋げていきたい。逆参勤交代は、私のライフワークであるが、首相の所信表明演説に「逆参勤交代」という言葉が出るまで粘り強く推進するつもりである。また来年度、福井市を逆参勤交代することを楽しみにしている。

さいごに

有限会社E.N.N. 代表/DiscoverRe-FUKUI マスター 小津誠一氏



今年度、DRFは5年目を迎えました。空きビルなどを対象に事業計画を含む広義のリノベーションに取り組んできたDRFは、世界が迷走した2020年には未来の福井駅前中心部のビジョンを描き、昨年2021年には都市を考えることと実践することを重ね合わせたアーバニストについて考えました。都市活動が制限された期間に、これからの創造的な都市再生へ向けて準備をしてきたと言えるでしょう。

そして、今年、丸の内プラチナ大学「トライアル逆参勤交代」に取り組み、首都圏から新たなアーバニスト達を迎え、福井のいまを体験していただいた上で、多様な提案をプレゼンテーションしていただきました。それらは、自分事のように語られる数々のプロジェクトのアイデアでした。

この自分事として語るということこそが、DRFが姿や形を変えながらも貫いてきた福井のアーバニストへ求め続けてきたことだったと、改めて認識する機会となりました。

一年後、いよいよ北陸新幹線が延伸され、福井市中心部さらには福井県内の各地域の都市開発や再生への取り組みが大きな転機を迎えることとなります。しかし、DRFが育んできたアーバニストの活動は、これからが本番です。そして、DRFという活動体が主体的に福井という都市に関わる人を増やしていき、未来のビジョンというブループリントが、いきいきとした現実の都市へと再構築されていくことを願うと同時に楽しみにしています。



逆参勤交代プロジェクト

株式会社三菱総合研究所 主席研究員 松田 智生
丸の内プラチナ大学 副学長

エコツェリア協会 SDGsビジネス・プロデューサー 田口 真司
丸の内プラチナ大学 副学長

受講生の11名のみなさま

スペシャルサンクス

福井県立大学地域経済研究所 准教授 高野 翔

株式会社ピンタイ 高岡 勇治

福井駅前五商店街連合活性化協議会 会長 加藤 幹夫

福井市歴史ボランティア「語り部」 井上 満枝

アオハルプロジェクト 参加された高校生のみなさま

モデレーター

有限会社E.N.N. 代表 小津 誠一
DRFマスター

編集・デザイン

株式会社舎家 牛久保 星子
松倉 健太郎



Fukui

Discover

発行日 2023年3月
発行元 福井市・まちづくり福井株式会社